

キャラクター名
アムプロシア・ヴルカラカス

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー エグザイル	ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	UGNエージェント
オプショナル		年齢	外見7~8歳程度	性別	男
覚醒	死	衝動	吸血	初期侵食率	35%
出自	名家の生まれ	経験	被害者	邂逅	悪人(誘拐犯):西園寺工リカ

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	3	0	0			3	行動値	15
感覚	3	1	0	3		7	(非装備時)	15
精神	1	0	0			1	戦闘移動	20
社会	1	0	0			1	全力移動	40

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	4		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
骨の銃+形状変化:剛	射撃	7r+3		16		侵蝕6
オデュッセイア	射撃	13r+3		16		コンセ+滅びの一矢/侵蝕4/HP消費2
オデュッセイア@100-	射撃	17r+3		19		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	
コネ: UGN幹部	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
古代種	P	N		
両親	P 純愛	N 疎外感		
西園寺工リカ	P 有為	N 恥辱		
シナリオ: [MCC] 事件の犯人	P 執着	N 嫌気		
歌方有亜	P 同情	N 嫉妬		
歌方寛太	P 連帯感	N 不快感		
弁護士と警察	P 連帯感	N 無関心		

最大財産P: 4 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:ブラム=ストーカー	2	2	メジャー			シンドローム	-	
効果:	C値-Lv(下限7)							
骨の銃	1	3	マイナー	至近	自身	-	-	
効果:	シーン中、種別:射撃/技能:<射撃>/命中:-1/攻撃力:+[Lv+5]/射程:20m の武器を作成、装備							
形状変化:剛	5	3	マイナー	至近	自身	-	-	
効果:	シーン中、攻撃力+[Lv*2]/オートで効果を終了できる/効果中、他の《形状変化:》ができない							
滅びの一矢	5	2	メジャー	武器	-	射撃	-	
効果:	射撃攻撃のダイス+[Lv+1]/HP2点消費							
血の宴	3	3	メジャー	-	範囲(選択)	シンドローム	-	
効果:	攻撃の対象を範囲(選択)に/1シナリオLv回							
殺戮領域	1	3	メジャー	-	-	シンドローム	リミット	
効果:	前提:血の宴/攻撃力+10							
インペリアルガード	1	3	オート	至近	自身	-	Dロイス	
効果:	HPダメージが適用される直前に使用/受ける予定のダメージ-2d10/1シナリオLv回							
メモリー:故郷	★							
効果:	P:執着/遙か遠い我が故郷。							
かしく歯車	★	-	メジャー	至近	自身	自動成功	-	
効果:	心臓の動きをコントロールし、血液の流れを制御することによって精密な作業を迷うことなくすることができるエフェクト							
環境適応	★	-	常時	至近	自身	自動成功	-	
効果:	全身を変化させて高山地帯などの低酸素地域や、寒冷地などの局地に順応できるようになる/どの程度の環境まで対応できるかは、GMが決定する							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

【概要】
アムプロシア・ヴルカラカス——要約すれば『不死の怪物』。
無論、本来の名前であるはずがない。
誉れ高き貴族の座から瞬く間に転落し、遙か東の地に流されたその人物は、今はUGNに身をやつしている。
この組織で名を挙げ、自分を笑った奴らを見返してやりたい。そして、願わくばいつかまた、あの家に戻りたい。
そんな思いを胸に、誇り高き没落貴族は今日も仕事をこなすのだ。

還るべき場所などもう無いのに。

【経歴】
歴史ある国●●の由緒正しい名家に生まれた××は、生まれ落ちた瞬間から豊かな将来を約束されていた。はずだった。
しかし——名のある家を狙った、とある凶悪犯罪に巻き込まれたことで、運命の歯車が狂い始める。
××はそこで『死んだ』。そして、『不死の怪物』アムプロシア・ヴルカラカスとして蘇った。
長い放浪の果て、遠い異国の地に放り出されて路頭に迷うしかなかったアムプロシアは、人目を避けて富士の樹海などで生活しているところをUGNという名の組織に拾われた。
自分が人の下につき、このような雑事をこなさねばならないとは。屈辱以外の何物でもない。
しかし、様々な環境で生き延びてきた経験から、環境適応力は高い。
なんだかんだ言いながらUGNや現代日本の文化を吸収しており、今では仕事として上司を重んじるしそこそ日本人である。
持ち前のプライドを活かしてオーヴァードとしての腕を着実に上げながら、虎視眈々と名誉の獲得を狙うのだった。
全ては、汚名を返上して再び故郷に戻るためだ。

××は家族が大好きな子供だった。